

# 館山塾報



〒101-0061

東京都千代田区三崎町二一八一九  
 Tel (03) 3264-1838  
 Fax (03) 3264-1836  
<http://www.tateyamajuku.com/>  
 館山塾

## contents

チーフ制について	2 面	合格の秘訣	2 面
生徒の受験記録	3 面	志望理由書例	5 面
講師のページ	6・7 面	受講料のお知らせ	8 面

~~~~~  
 第Ⅰ・Ⅱ期の行事から  
 ~~~~~

### ☆第Ⅰ期総合試験・特殊講義

【中学】五月二十七日(日)・六月三日(日)

五月二十七日(日)・六月三日(日)は、中学生全学年を対象に、第Ⅰ期総合試験及びその解説の特殊講義が行われます。

対象 中学生全員

科目 国語・数学・英語の三教科

(中三の理・社選択者は五教科)

【高一・高二】五月二十七日(日)

五月二十七日(日)は、高校一・二年生の各クラスを対象に、第Ⅰ期総合試験が行われます。

対象 高校一・二年生

科目 国語・数学・英語の三教科のうち、各自の受講科目(受講していない科目も、希望により受験できます)

### ☆次回総合試験……前期終了試験

【夏期講習最終日に実施】

~~~~~  
 第Ⅱ期(6月～8月)の予定  
 ~~~~~

### 中・高共通

五月二十七日(日)……………中学、高一・二第Ⅰ期総合試験

六月三日(日)……………特殊講義(中学)

七月十五日(日)……………平常講義終了

七月十六日(月)・二十二日(日)……………保護者面談

七月二十三日(月)～二十六日(木)及び

二十八日(土)～三十一日(火)……………夏期講習期間 A

八月二日(木)～五日(日)及び

七日(火)～十日(金)……………夏期講習期間 B

八月十八日(土)～二十一日(火)及び

二十三日(木)～二十六日(日)……………夏期講習期間 C

※期間 C は、高3を除く全学年、補講実施期間となります。期間 A・B の欠席者の他、発展的な演習から基礎事項の復習まで、授業以外にも、たっぷり力をつけたい諸君のための期間です。期間 C には高三オプショナル講座も開設されます。またこの期間、中三は各教科の演習講座を実施します。八月二十七日は、左記の通り全学年総合試験を実施します。

八月二十七日(月)……………前期終了試験

~~~~~  
 お知らせ  
 ~~~~~

★上記の予定通り、面談・夏期講習が実施されますが、時間割等の詳細は、次回の塾報(六月下旬発行予定)でお知らせ致します。尚、七月十六日及び二十二日実施予定の面談は中学生の保護者の方が対象となります。高校生の面談は七月中に、個別に随時実施する予定です。やむを得ぬ事情で夏期講習を受講できない場合は、七月五日までにご連絡下さい。

### ☆総合試験について(中一～高二)

- ・総合試験は、塾生諸君の学習達成度を測るものとして、大変重要なものです。全員、必ず指定された日時に受験して下さい。
- ・万一、やむを得ぬ事情で欠席する場合は、事前  
に欠席届の提出が必要です。
- ・届け出の用紙は事務でお渡しします。
- ・欠席届には、欠席理由を明記の上、保護者の方  
の署名と捺印が必要です。
- ・欠席届は試験前日までに事務へ提出願います。
- ・届け出時に、事務から後日受験の日時を指示します。
- ・当日、急遽欠席する場合には、当日中に電話連絡  
の上、事務の指示を受けて下さい。
- ・なお、この場合も、前記同様の欠席届を後日提  
出していただきます。

~~~~~  
 チーフ制度について  
 ~~~~~

△▼チーフ制度とは？△▼

館山塾では、塾生一人に対して、常勤講師一名が担任講師（チーフ）となります。塾での受講科目に限らず、学校の成績も含め、塾生の成績を総合的に把握し、一人一人の塾生が学年に応じた、的確に学習を進められるようアドバイスしてまいります。高校生に対しては、既に全員に、年度初めの時期に各担当チーフによる面談を行いました。その他、全学年とも、夏休み前の時期、及び秋から冬にかけての時期にも個別に面談を行う予定です。特に三年生には、受験を前に綿密な受験指導を行います。苦手科目を敬遠するあまり、ついつい勉強のバランスが崩れている場合など、早めに発見して的確なアドバイスをを行い、授業以外にも塾生の学力向上に効果を上げていきます。

塾生諸君も、相談事があれば、いつでも各チーフまで申し出て下さい。受験相談から学習上のあらゆる事に至るまで、何でも受け付けます。模試の結果など携えて、ふるって相談に来て下さい。また、チーフ以外の担当科目の講師に相談がある場合も、遠慮なく申し出て下さい。

ここに紹介する「秘訣」は、今春大学合格を果たした卒業生が塾生に向けて書いてくれたアドバイスです。是非参考にして下さい。

△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼

大学合格者による「合格の秘訣」

△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼

木原みな子さん（都立西高）

東京大学文科Ⅲ類合格

☆高1の時は

部活や学校行事を存分にこなし、人間性や根性、精神力を育成。

☆高2の時は

初めて東大を意識したが、相変わらず部活に没頭。しかし、一方で塾の授業に対する真剣度アップ。

☆高3の一学期

部活と勉強の両立に最も苦しんだ時期。とにかく、どんなに疲れていても塾の授業に出て、しかも寝ないことが重要。

橋本千昌さん（都立小石川高）

国際基督教大学教養学部合格

☆高3の一学期

まずはいかに受験生らしくなれるかがポイントです。気持ちだけでも入れておくと、後々辛くならないです。

中村藍さん（東洋高）

神田外国語大学外国語学部合格

☆高1の時は

遊びとバイトで多忙を極めた。この頃、単語だけでもやっておけば良かったと少し思います。でも楽しかったからOK！

☆高2の時は

ほとんど勉強なんてしませんでした。冬頃、少し大学を意識し始めました。

☆高3の一学期

はじめに焦り始め、ちゃんと勉強しようという決心。塾の小テストできちんとした点数を取る努力をすることから始めました。

（中村さんは高3英語Cクラスのスタートでしたが、センター試験で英語は一八二点取りました。）

古田風彦君（都立小石川高）

京都大学総合人間学部合格

☆高1の時は

倫理だけ頑張った。

☆高2の時は

勉強していた記憶がないが、英語はなぜかできた。

☆高3の一学期

塾中心というか受身で勉強していた。

高田怜君 (郁文館高)

上智大学法学部合格

☆高1の時は

学校の課題と定期試験の時しか勉強しなかった。

☆高2の時は

基本は高1の時と同じ。しかし1学期から日本史、2学期から単語、3学期からは塾に通った。塾の課題は必ずやった。

☆高3の1学期

上記のことに加え、英語長文対策のため『基礎英文問題精講』をやり始めた。

千明孝司君 (都立北園高)

浪人 (上智大学理工学部、首都大学

システムデザイン学部合格)

☆高1の時は

数学は基礎的な計算を練習し、確実に答を出せるようにする。英語は単語を覚えつつ、文法を中心にやる。

☆高2の時は

数学、物理は、なぜそうなるのかを必ず一つ一つ理解して進める。

☆高3の1学期

高2の時と同様にしっかりと理解して進めることを心掛ける。

## ◇◇◇ 受験記録 ◇◇◇

合格した大学 首都大学東京 都市教養学部 都市教養学科 法学系

入試 平成19年度 東京未来塾特別推薦

成城高校 岩野 佳太

### 1 東京未来塾に入塾するまで

高校二年の10月。学校で進路の話しが頻繁になり、どこかの大学を受験しようか悩んでいた。もともと国公立の大学に行きたいとは考えていたが、「この大学に絶対行きたい」というものはなかった。しかし、ある日友達と進路の話しをしていると、首都大学東京という聞き覚えのない大学が出てきた。調べてみると、もともと四つあった公立の大学が一つの大学になったらしい。自分が受けた法学系のレベルも高かった。「レベルも高いし、公立だし、これは良い目標だ!」と、そのくらいの気持ちで考えていた。

11月のある日、HRで担任の先生から進路に関わる話があった。首都大学の推薦入試のことで、なんでも「東京未来塾」という聞くと怪しすぎる塾に入塾することができれば、首都大学に行けるという話だった。首都大を第一志望と考え始めた頃であったから、これはチャンスと思った。しかも成績オール4以上、東京都の住民でなければならないという条件も問題なく、入試のチャンスが増えると思い、入塾を志願した。

入塾試験は1月で、準備期間が二ヶ月ほどしかなかった。試験内容は、英語長文の要約とその文に関する小論文、個人面接、集団面接。小論文は館山塾のおかげで書けるようになったが、覚えている英単語の量が圧倒的に足りなく、かなり焦って勉強した。多分あの時期に、あれだけ追い込まれて必死だったのは、成城高校で自分一人だけだったと思う。個人面接の練習は、お願いしていたのにも関わらず、学校側の都合で入試の一週間前から始まり、相当パニックに陥ったのを覚えている。

入塾試験本番の日。一番鮮明に覚えているのが、集団面接である。集団面接は一回も練習することなく、本番に臨んだ。集団面接は女子3人と、自分を含める男子2人の5人で、「ニート問題」についてディスカッションをした。みんなたいしたことない勝手に思いこみながら臨んだが、女子3人は同じ高校生とは思えないほど、あのときは立派に見えた。自分も「ニートには夢を与えるべきだ」とかそれらしいことを何回も言っていた記憶がある。もう一人の男子は、かわいそうに女子3人に集中攻撃されていた。

2月に入り、学校に合格との連絡があった。倍率は3~4倍くらいで、私立は10人しかとらないから難しいかな~と思っていたぶん嬉しかった。ただ、その喜びも3月にあった未来塾のオリエンテーションの日に半分くらい消えた。土曜日だけと聞かされていたが、火曜日もあり、スケジュールがみっちり。しかも、首都大学への推薦入試は、未来塾の成績と学校の成績だけでなく、別途に小論文と面接があるという。このときは全体を把握できずにいたが、

この塾にいるだけじゃ受からないよ、忙しいよ、と言っていることだけは理解できた。

## 2 未来塾での活動

### (1) 課題解決学習

未来塾の学習は大きく分けて4つあり、そのメインとも言えるのがこの課題解決学習である。課題解決学習の内容を簡単に説明すると、まずテーマがある。その1つのテーマに対して約3日間（1日3時間）分ある。例えば「高度情報社会」がテーマだとすれば、その分野におけるエキスパートの人たちから講義を受ける。実際に「高度情報社会」がテーマの時は、IBMの会社までいき講義を受け、その会社の中を案内してもらった。

その後班を組み、課題はどんなところがあり、これからどんなことをしていけばよいか、どうすればより良い社会になるかなどのことを、仲間同士で話し合う。

その話しあったことを、全員の前で班ごとにパワーポイントなどを使い、発表する。終わった後は、レポートを三枚提出しなければならない。最初のうちはなかなか慣れないが、慣れると楽しいことは楽しいし、様々な体験をすることができたり、いろんな人から講義を受けられたりすることができるのは素晴らしい。しかし、レポートはかなり面倒である。そのレポートで成績が決まるようなものだから手を抜くことはできないし、量は多い。

課題解決学習は全部でNO.13まであり、今もまだ終わっていない。

### (2) ゼミナール

このゼミナールは課題解決とは違い、一つのテーマを自分で決め、一年間を通して研究していくものである。これは未来塾側が何かを提供してくれるわけではないので、自分で本を見つけて本を読んだり、実際に施設を訪問したりしていく。最終的には6枚のレポートにおさめ、研究した成果を発表する。この研究が一番内容濃くて、よくやったと自分でも思うので、一緒に送っておくのでいつか読んでみてください。

### (3) 体験学習

体験学習では、イオン株式会社ジャスコ南砂店で5日間体験学習を行った。講義を受けたり、盲導犬体験をさせてもらったりしたが、それ以外はタダ働きの雑用といえる。冷凍食品の品だしを手が凍えるほどやり、牛乳を延々と並べたりしていた。そして一番困ったのが、お客様に商品の場所を聞かれること。わかるわけもなく、「少々お待ちください」といって本当の店員さんに頻繁に助けを求めにいったのを覚えている。一番の至福のときは、昼食の時だった。社員食堂のご飯は特別に何かおいしく感じられた。

### (4) 特別講義

この講座は2時間ほど講義を受けたのち、与えられたテーマで小論文を書いて終わり。一番印象に残っているのは、草月流家元の3代目、勅使河原 茜氏の講義である。講義と言うよりは、花や大きい竹をその場でいけてみせたパフォーマンスだった。その後の小論文が「日本文化を未来へどのようにつなげていくか」というかなり強引な小論文だった。未来塾は結構難しいことを要求してくる。

## 3 特別推薦入試

推薦入試は11月に行われた。学校と未来塾の両方からの推薦となる入試である。この日の小論文のために、かなりの量の小論文を練習し、時事ネタに政治・法律関係の参考書や本で勉強を8月から進めてきた。過去問が去年のものしかなく、小論に関しては出る可能性のあるものすべてに手を出したつもりでいたが、やはり本番の試験はそううまくいくものではなかった。テーマは「立憲主義の歴史と未来について述べよ」。まさに予想外だったと言ってもいい。ただ政経の教科書や参考書を読んで、全く知らないわけではなかったので、日本史の知識と憲法改正についての知識をうまくつなげて、なんとか書くことができた。

面接もかなりやりこんで本番に臨んだが、あの緊張は忘れられない。最初は順調に進んでいたが、後半、志望理由書について聞かれたとき、志望理由書に書いたことを後悔した。それは、国際弁護士を目指したいという言葉である。国際弁護士の話が進み、「じゃあ君はパプアニューギニアの領土問題についてはどう思う」と聞かれたときは、即座にわかりませんと答えた。面接を終えてみて思ったが、トップバッターだったということもあったかもしれないが、かなり厳しかったのは確かだった。そんなこと高校生じゃ答えられないだろ、と思うことを聞かれたり、しかられたりもした。笑)

#### 4 終えてみての感想

高校3年間の中で、一番内容の濃い、本当に様々なことが体験できた一年間だったと思う。学校があり、ラグビー部としては秋の大会まで残り、未来塾に通い、館山に通った。今考えると、よく体力持ったな〜と感心してしまう。でも気力が持ったのは、どこに行っても仲間がいて、胡子先生に文句を聞いてもらったからだと思う。笑)

未来塾が一般受験より大変かどうかはわからず、未来塾に入ってなかったら違う大学を受けたかもわからないが、結果的に正解だったと思う。未来塾でできた仲間とは大学でもつながっていくし、何よりこの一年間は他の受験生にはない貴重な経験であった。あとはしっかりレポート書いて、卒塾して入学を確実なものにするだけだ！あと、入学前にクラス分け英語テストがあるのでそれに向けてがんばります。笑)

約1年半、館山塾の先生たちにはお世話になりました。これからもたまに現れたいと思うので、その時はお世話してください。ありがとうございました。



### 〔志望理由書例〕

今春、日本大学理工学部土木工学科のAO入試で合格した石井友也君の志望理由書です。身近なことと自分が大学で学びたいことを結びつけて考えていく点など、是非参考にして下さい。

2004年10月に起きた新潟中越地震で親戚の家が被災した。タンスが倒れたり、食器が割れたりするなど、かなりの被害が出た。近所では全壊した家もあったと言う。震災後、被災した叔母は、我が家の防災意識の低さを指摘し、様々な防災グッズを紹介してくれた。東京でも大地震が来ると言われ続けているが、一般の防災意識は決して高いとは言えない。我が家でも遅ればせながら、転倒防止金具などの取り付けを行ったが、建物自体の対策は簡単にはとれない。親戚の家自体に被害はなかったものの、近所で全壊した家もあったという話を聞くと、建物の構造や地盤の性質に、人の生死を分ける重大な問題があることがわかり、そのメカニズムがどうなっているのか強い関心を持った。

新潟中越地震は阪神淡路大震災に比べると、火災による被害が少なかったようだ。関東大震災でも火災による死傷者が多かったことを考えると、火災対策は十分に考えておく必要がある。新潟では、水道が断水しなかったことや、養殖池などからの水が利用できたことが大きかったと言う。雪国では、道路の融雪設備が充実しているが、その点も役に立ったようだ。こうした都市の設備が災害時にどう影響するのか、被害をできるだけ食い止めるにはどういう設備が有効なのか、過密都市東京の中心に住んでいる自分にとってはまさに死活問題であるだけに、大変深い関心がある。

中学3年生の総合学習の時間に、都市の緑化に関して調査したことがある。私の住んでいる千代田区では、条例で緑化を促進するための助成金の制度があり、屋上緑化、壁面緑化などがヒートアイランド対策として大変有効であることがわかった。夏は夜になっても気温が下がらないのが、千代田区に住んでいて最も住みづらく感じるところだが、実際にどれだけの緑化が進めば、どれだけ気温が下がり、住民の実感として住みやすくなるのかは、大変関心のあることだ。

また、釣りの好きな祖父に連れられて、小さい頃からよく東京湾や隅田川に行っていたが、行く度に、高度経済成長時代の東京の海や川の汚染の様子は何度も聞かされてきた。江戸の町をこよなく愛する祖父にとって、当時の環境破壊に心を痛めていたことがよくわかる。海や川は、都市の生活環境に大きく影響する豊かな自然だ。それが一度は死の海や死の川と言われるほど汚染が深刻化したにもかかわらず、今では自然が戻ってきている。自然の浄化作用は人間の力を遥かに超えた大きな力を持っている。その力を利用した都市環境の改善が何かできないか、神田川の濁った水を毎日見ながらいつも思っている。

私の住んでいる千代田区は、実際に住んでいる夜間人口約4万人に対して、昼間の人口は100万人にも達すると言われている。人口が多い分、問題もたくさんある。しかし、ちょっとしたことで改善できることも多い。路上での喫煙を禁止した条例に罰則までつけることで、街中に捨てられていた吸殻が激減したのは、小学生の時から地域の清掃を行っていて実感できることだ。こうした小さな改善点でも、実際に住んでいる者の立場からすると、非常に大きな喜びだ。自分が住んでいる地域の環境が少しでも改善されれば、誰でも喜びを感じられる。私が都市の環境改善に役立つ仕事をしたいと思うようになったのは、こうした背景がある。

日本大学工学部土木工学科では、「社会に役立つ施設づくり」「自然と共存できる街づくり」「災害に強く住みよい都市づくり」を目指し、21世紀にふさわしい社会環境の創造に取り組むシビル・エンジニアを育成するという、私が今までに興味を持っていた問題の全てに対応する学科であることを知り、是非ともここで東京を住みよい街に変えていくための知識と技術を身に付けたいと考えるようになった。

地震対策としては、地震工学、耐震工学、地盤力学、環境対策としては、都市計画、環境工学、水理学、海岸工学、港湾工学、環境衛生工学に特に興味がある。まだ将来の具体的な職業に関する知識はないが、自分の住む街の環境をよくしたいという単純な動機から、首都東京が、世界に誇れる美しい都市に生まれ変われるよう努力したいと強く思っている。そのための基礎知識をしっかりと学びたいと思い、日本大学工学部土木工学科を志望した。

## ◇◇◇ 集中力養成講座 ◇◇◇

「もっと集中して勉強しなさい。」「集中しているよ。」こういう会話をしたことありませんか。実は、意味のない会話なのです。「集中しなさい。」と言われて集中できるものじゃないし、集中していれば「集中してるよ。」なんて返事はしないものです。

一口に集中と言ってもその度合いがありますので、まずそれから説明します。

レベル5…最高の集中度。ゾーンに入ったとか、無我の境地といわれる状況です。

レベル4…かなり強い集中度。没頭するという言葉がいちばんよくあてはまります。

レベル2…普通の集中度。他に興味のあるものが現れるとそちらに気が向く状況。

レベル0…集中度0。テレビをぼーっと見ているときのような状況。声を掛けても返事をしないので、これを強い集中度と勘違いする人もいます。

(レベル3、1はそれぞれの間と考えて下さい。)

レベル5の集中度は、環境、体調、その他諸々の条件が揃わなければならないので、常にこの状況を維持することは無理ですが、大事な局面ではぜひこの状況になりたいものです。レベル4までは訓練することによって意識的にもっていくことができます、そして、このレベル4の経験が多いほどレベル5に達することが可能になります。

その訓練方法ですが、まず今から自分がどのレベルの集中度で勉強をするのかを意識します。できるできないにかかわらず意識すれば良いのです。例えば、数学の初めて見る応用問題を解くときはレベル4が必要ですから、「今からレベル4行きます。」と口に出してから解きます。計算問題の間違ひを見つけるのはレベル2ですから、「レベル2」と言ってから始めます。そして次の訓練は、終わったときにそのレベルに達したかを判断します。「レベル4達成。」、とか「レベル3止まり」とか。そうすることによって、無意識の自分に集中する方法を教えることになるのです。ぜひお試しください。

常に一〇〇%の集中度でいたいという人へ。

人間は、一日に集中(レベル4以上)できるのはせいぜい三時間程度と言われていています。一科目六〇分、三科目の入試を受験してみればわかります。他に何もしなくても三日続けて受験すれば良かったです。ですから、上手に集中の度合いを使い分けて勉強時間を増やすのが良いです。使い分けることにより、レベル4がさらに強くなり5に近づきます。

どうしても長い時間集中できないという人へ。

一日に十分だけで良いですから、頑張ってレベル4に挑んで下さい。これを仮に一年間続けたとしたら、三六〇〇分、つまり六〇時間。一日三時間として二〇日分ですよ。どんな苦手科目でも何とかかなると思いませんか。

それから、音楽を聞きながらの方が集中できるという人へ。

それは集中ではなくリラックスです。入試の時、ヘッドホンを付けながら受験することを許されたとして、そうする人はいるでしょうか。多分いないでしょう。オリンピックの走り幅跳びで、走る前にヘッドホンを付けている選手がいましたが、あれは精神をリラックスさせて次のレベル5の状況にするための準備をしているのです。ヘッドホンつけたまま走って良い記録を出した選手を見たことはありません(これはちょっとずるい論法でしたね)。受験勉強は孤独との戦いですから、これ乗り越えて実のある受験勉強ができるのです。リラックスするために聞くのは良いですが、孤独から逃げるために大好きな音楽を使うのはやめましょう。

(数学科熊倉)

**緊急報告** 全国学力テストは大丈夫？

4月24日に全国学力テストが行われた。43年ぶりのことで、対象となる小6、中3の児童・生徒は約二三万人。テストの経費は準備費用も含めて約77億円（調査の発送、採点、集計などはベネッセコーポレーションとNTTデータに委託）。

国語Aで「知識」を、国語Bで「活用」の力をみるのが狙いとのこと。はたして、このテストで計れる学力とは何なのか？ 77億円をかけた価値はあるのか？ 館山塾国語科三輪が中3国語A Bの問題を実際に解いてみた。

**第一印象** 簡単すぎる。少なくとも、学力上位層（上位20%ぐらい／偏差値が50台後半以上）の生徒にとっては、受ける意味が正直見出せない。東京都私立中学一八〇校のうち32校（17.8%）しか参加しなかったというのわかる気がする。

**問題分析** 〈国語A、8の五〉はおもしろすぎ。

「次は三年生の学年目標を掲示するための下書きです。文字を書く位置や字と字とのバランスを整えるためには、どのように書き直せばよいですか。あとの1から4のうち、改善点の説明として最も適切なものを一つ選びなさい。」

# 三年生学年目標

- 1 行の中心を右にずらし、「三年」をほかの五つの漢字と同じく大きいサイズにして、「三」と「年」の間をもっとつめたほうがよい。
- 2 行の中心を右にずらし、「三年」をほかの五つの漢字と同じく大きいサイズにして、「三」と「年」の間をもっとあけたほうがよい。

- 3 行の中心を左にずらし、「三年」をほかの五つの漢字と同じく大きいサイズにして、「三」と「年」の間をもっとつめたほうがよい。
- 4 行の中心を左にずらし、「三年」をほかの五つの漢字と同じく大きいサイズにして、「三」と「年」の間をもっとあけたほうがよい。

あまりの衝撃的な設問に、私は帰りの三田線の中で解きながら思わず声を出して笑ってしまった。「右」と「左」の語句の意味確認問題か？

念のために、公表されている正解は選択肢「3」。

ただ、館山塾の中3には頭が切れる生徒もいる。「設問中に『学年目標を掲示するための下書き』とあるので、〈下校時に買い食いはいししない〉みたいな学年目標を書くスペースを、この紙の中にちゃんと取る必要がある。だから『行の中心をさらに右にずらす』という1が正解かもしれないと最後まで悩んだ」と。私もそれを聞いて、即座に「1が正解！」と考えを改めた。

1を選んだ生徒の中には、①（何らかの事情で）「右」と「左」の区別がつかない生徒と、②「右」と「左」の区別はついた上で、さらに設問の設定条件を正確に読み取り、論理的な思考をした生徒（ともに極めて少数）がいるはず。その両者を同じ学力（＝「なし」）と判定してしまうテストに対しては、「上位層の力まで計れるためのテスト」にはなっていないと判断する。

**宣伝** その一方、館山塾の国語の総合試験は、基礎から応用さらに難問まで、

全ての生徒の力を適切に判定するバランスのとれた問題構成になっています。経費に77億円はかかっていませんが、もしそんなにいただけるのであればかなりうれしいです。みんなで分けましょう！

（国語科三輪）